

## 看護学科

科目名: 成人看護学実習Ⅱ			担当教員 氏名: 小倉 之子、中井 里江、尾山 由里子 他						
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考				
3	2~3年次	通年	専門科目	実習	必修				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
慢性期疾患患者や終末期にある患者を理解するとともに共感的態度の育成を目指し、苦痛の緩和や自己実現への支援およびQOLの向上を目指した看護過程を展開することができる。					成人期、慢性疾患患者、看護過程の展開と実践				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリクスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10				
A 知識・理解力		机上で学んだ知識を臨地で繋げることができる							
B 専門的技術		単に基礎的な技術方法ではなく、その人に応じた方法を提供することができる							
C 論理的思考力		対象者の情報収集・アセスメントを論理的に整理することができる							
D 問題解決力		対象者の困りごとを共有し、改善方法を看護過程思考を用いて患者とともに考えることができる							
E 自己管理能力		4週間の実習の中で身体的調整、精神的調整を行いながら、自己を見つめなおして新たな自己成長を目指すことができる							
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	80 %	発表:	%	実技試験:	%	その他:	20 %
特記事項: 出席状況、実習中の態度や積極性を重視する。 レポート課題、実習記録の提出などの期限は厳守すること。 実習事前課題は、再提出も含めて実習前に提出すること。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習    ディスカッション、ディベート    グループワーク    プレゼンテーション <b>実習、フィールドワーク</b>									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 実習最終日に記録物を提出。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 毎日の実習記録について助言し、記録の修正をする。									
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)				
					学習内容	学習に必要な時間(分)			
* 実習日程・内容などの詳細については、実習要項に記載					【予習】120分	【復習】120分			
実習病院: 射水市民病院    西能病院    高岡ふしき病院 富山西総合病院    富山西リハビリテーション病院					【復習】毎日の実習終了後は、実習日誌、看護過程展開などの記録の整理をする。 事後学習: 実習の振り返りを行い、実習記録を整理し、提出				
使用テキスト:					その他参考文献など: 1. 経過別成人看護学3慢性期看護, メヂカルフレンド社 2. ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく実践看護アセスメント, ヌーヴェルヒロカワ, 渡邊トシ子 編 3. 看護診断ハンドブック第11版, 医学書院, リンダJカル				
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 本実習の目的を理解し、目標の到達に必要な行動目標を明確化して毎日の実習をに臨んでほしい。 受身ではなく毎日の実習目的を自ら提示し、指導者と相談・連絡・報告し修正しながら積極的な姿勢で実習に参画されることを望									